

## 巻頭言

茨城県商工会議所連合会会長  
水戸商工会議所会頭

### 三宅 亮 一

水戸市の商工業界は、今大きな渦の中にまきこまれております。これは、水戸だけのことでなく、茨城県全体、あるいはさらに広く全国的に、わが国の高度経済成長の結果生じたもろもろのひずみが、いろいろの波動を示して、あたかも河口にたつ三角波のような状況を示していると思うのでありますが、これらの流通の問題、公害の問題、物価の問題などが大きな圧力となつてのしかかつて来ているのであります。

その中の一つのあらわれとして、中央大型スーパーの進出なども考えられるのでありますが、とにかくこのようなしわ寄せが、好むと好まざるとにかかわらず現実の問題となつて中小企業の立場をいやが上にも困難なものに追いやつているわけであります。

このような事態に対応して中小企業が生きていくにはどうすればよいか。結局は、従来の顧客を守り、さらには新しい顧客層の獲得を果たさねばならないのであるが、そういう面における情報の活用ということは非常に大きなウエイトを占めるものであると考えられます。

中央資本が進出してくる場合、そこには内部的に、あるいは外部的にあらゆるデータを積み重ね、その上に立つて的確な見通しのもとにチャンスをつかんでの行動となるわけでありましょうが、それを迎えうつためには、こちらにもそれだけの覚悟と準備が必要となるわけであります。その基礎となるのがあらゆる面の資料であります。統計の重要性については、今更いうまでもないことと思うのでありますが、前述のような現在のきびしい激動の時代にあつて、変貌きわまりない時局の波に対応していくためには、すみやかな情報の獲得、資料の入手ということが常に考えられなければなりません。

しかも、その情報、資料は、早いということだけではなく、確実なものでなければなりません。

統計の重要性はここにあるのであつて、情報に確実な判断の基礎を与え、さらにその情報の活用に応じた的確な指針となるものであります。ちよつと見ては、乾燥無味な数字の羅列と見られ易いかもしれませんが、その数字の堆積は一つ一つに生きているのであり、社会、経済のあらゆる流れが、脈々と波打つていると言つても過言ではないのであります。

水戸商工会議所においては、その仕事の本来の性質から商圏の調査や金融動態、労働状況その他工業、物価等あらゆる面の統計資料を活用しており、また当所の小売物価調査には、そのウエイト計算の基礎として家計調査を利用させていただいており負うところ非常に大きなものがあります。

この上さらに迅速、且つ確実な統計資料の提供によつて、われわれの産業活動をスムーズならしめ、豊かな国民生活の実現への基盤たらしめられるようご努力を願つて止みません。